

大連市新型コロナウイルス感染による肺炎疫病状況予 防制御指揮部令（第4号）

大連市全体の新型コロナウイルス感染による肺炎疫病の再発生と拡散を更に防ぎ、大連市全体人民の生命安全と健康を保障し、社会公共の秩序を維持するために、「中華人民共和国突発事件応対法」などの法律法規と国家・省の疾病予防・制御仕事の要求に基づき、大連市新型コロナウイルス感染による肺炎疫病状況予防制御指揮部の検討により、以下のような命令を下ろした。

一、積極的に政府関連部門の感染検査・予防業務に協力しなければならない。空港・駅・港・公路を經由して大連市に入った全ての人は、「来連人員健康申告書」への記入が必須です。協力しない・虚偽報告、記入の拒絶などは公安部門より、法律に基づき処分される。

二、感染予防・制御仕事の管理の強化。大連市外から大連に戻った人は大連に戻った日から、一律に14日間自宅で自己隔離を行って、自主的にコミュニティや勤務先への報告を行い、監督を受けなければならない。自己隔離の実施期間中、発熱などの症状が出た場合、素早くコミュニティや勤務先に報告を行い、適切な保護措置を取って、また120番救急車を利用し、即ち現地の発熱診療所の受診に行かなければならない。

三、下記の何れかの一つの行為があった場合、公安などの関係部門によ

り法律に従って厳粛に処理する。

- 1、疫病を利用し、嘘の情報を製作と拡散し、国家の分裂を扇動し、国家の統一を破壊する行為、あるいは国家政権の転覆を扇動し、社会主義制度を転覆させようとする行為；
- 2、疫病に関わる恐怖を煽る情報をでっち上げる行為。あるいはでっち上げる行為を承知の上で故意に拡散し、社会秩序を重大に攪乱する行為；
- 3、疫病に関わる偽造情報をでっち上げる行為。あるいは偽造情報を承知の上で故意にインターネット上または流す行為；
- 4、デマの拡散をする行為、疫病の危険な状況の嘘の報告行為、騒ぎをおこす行為、視覚的・聴覚的な攪乱、湖北省（武漢市）戸籍など全ての外地から大連に入る人への差別行為、またはその他の方法で故意に公共秩序を攪乱する行為；
- 5、医療救急人員、疫病流行防止人員、警備人員やその他関連する部門に従事する人員が予防・コントロール・伝染病除去のために採取する防疫、検疫、強制隔離、停留検査、その場での検査、隔離治療、感染エリアの封鎖、病院の封鎖など予防・コントロールに関わる措置を拒絶・障碍する行為；

- 6、新型コロナウイルス感染による肺炎の感染者または感染の疑いがある者が、衛生防疫機構が伝染病予防法に基づき行う予防・コントロール措置の施行を拒絶する行為；
- 7、新型コロナウイルス感染による肺炎の感染者または感染の疑いがある者が、公共の場所で特定しない人に故意しにウイルスを拡散させたり、あるいはその他の方法とその他の場所で故意にウイルスを拡散し、公共の安全に危害を与える行為；
- 8、緊急状況下で政府及び関連部門が法に基づく決定、命令、規定、要求の執行を拒絶する行為；
- 9、警備人員が現場で防止・コントロール措置を取ることを拒み、警備人員が法に基づき職務を執行することを阻害する行為、また公安機関が設置した警戒エリアに強行侵入する行為；
- 10、批准を受けずに、故意に道路交通を塞ぎ、防疫任務を執行する軍用車、警察車両、救急車、公務車などの車両と認証を受けた防疫物資車両の通行を障碍する行為、及びその他の正常な交通秩序を攪乱する行為；
- 11、疾病予防・治療・救援物資、設備の窃盗、詐欺、買い占め、強奪、破壊、独占、横領行為；

12、医師資格のない医師による医療行為により、新型コロナウイルス感染症による肺炎の感染者または感染の疑いがある者が正しい診察を受けられない、または二次感染などの重大な事態をもたらす行為；

13、不法なデモ・集会などを促進したり、扇動したり、組織することで疾病予防・コントロール業務を攪乱する行為；

14、野生動物や国家・地方の重点保護野生動物の不法な捕獲・殺傷や取引、それらの製品の不法な取引行為；

四、経営者の皆様は切実に社会責任を履行し、誠実に経営を行わなければならない。違法な、または規定に背いた経営行為は、市場監督など関連部門から法に基づき厳格に罰し、厳格な処分を実施する。

1、 規定に基づかない明確な価格の表示、価格詐欺、不当な値上げ行為、値上げ情報の拡散、在庫を大量に保持するなどの違法行為の厳禁；

2、 疫病に使用する薬品、医療保護マスク、防護服など「三無」製品の粗悪品、偽物などの生産販売の厳禁；

3、 農産品市場において、いかなる形式でも生きた家畜鳥の販売の厳禁；

- 4、 新型コロナウイルス感染による肺炎疫病予防・治療・治癒・処方などの内容の虚偽・違法広告の発表の厳禁。

大連市新型コロナウイルス感染による肺炎疫病状況予防制御指揮部

2020年2月3日